

# 愛知県感染症情報

AICHI Infectious Diseases Weekly Report

2009年2週(1月2週 1/5~1/11)  
2008年12月報

愛知県感染症情報センター(愛知県衛生研究所内)

<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/kansen.html>

E-mail: [eiseiken@pref.aichi.lg.jp](mailto:eiseiken@pref.aichi.lg.jp)

連絡先: 052-910-5619(企画情報部)

## 今週の内容

### トピックス

#### インフルエンザ

集団かぜの発生について(第8、9報)

#### 水痘

#### 感染性胃腸炎

#### 定点医療機関コメント

インフルエンザ、マイコプラズマ、感染性胃腸炎、水痘、流行性耳下腺炎等

全数把握感染症発生状況( )内は件数。

結核(25)、つづが虫病(1)、レジオネラ症(3)、アメーバ赤痢(2)、ウイルス性肝炎(1)、梅毒(2)、麻しん(2)

#### 2008年12月報

定点把握感染症報告数(保健所別、年齢別)

流行性耳下腺炎;半田及び岡崎市保健所は注意報レベル(定点あたり3.0人以上)

「グラフ総覧」は <http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/graph.pdf> をご覧ください。

## トピックス

### インフルエンザ(注意報発令中)

2008年49週に豊川保健所管内が注意報レベルとなりました(参考ページ2)参照)が、2週の定点あたり患者報告数は13.5人と、愛知県全体で注意報レベル(定点あたり10.0人以上)となりました。

#### 【参考ページ】

- 1)2008/09シーズンインフルエンザ発生状況(保健所別・週別) [http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/infllu\\_map.html](http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/infllu_map.html)
- 2)“インフルエンザ”注意報を発令します!(健康対策課) <http://www.pref.aichi.jp/0000020786.html>

### 集団かぜの発生について(健康対策課発表)

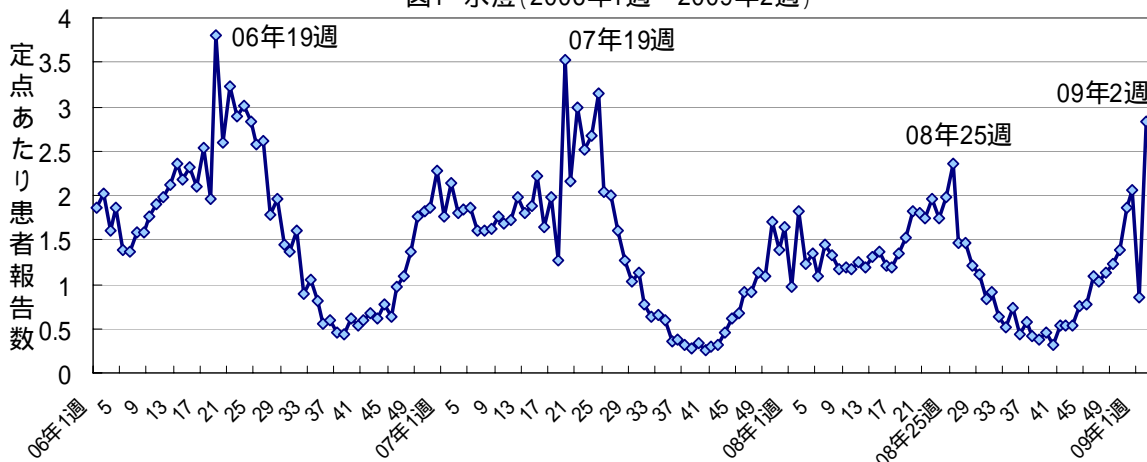
第8報(1月13日・瀬戸、西尾) <http://www.pref.aichi.jp/0000021584.html>

第9報(1月14日・豊川、西尾、江南、師勝、衣浦東部) <http://www.pref.aichi.jp/0000021655.html>

### 水痘(図1)

2週の定点あたり患者報告数は2.85人と2005年以降の同時期と比較し多くなっています。保健所別では、警報レベル(定点あたり7.0人以上)が津島、注意報レベル(同4.0人以上)が春日井、西尾、豊田市及び豊川です。

図1 水痘(2006年1週~2009年2週)



### 感染性胃腸炎

2週の定点あたり患者報告数は11.6人、保健所別では、警報レベル(定点あたり20.0人以上)が津島、豊橋市及び豊川です。

#### 【参考ページ】

胃腸カゼ、嘔吐下痢症の集団発生(ノロウイルス感染症) <http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/67f/nlv.html>

## 定点医療機関コメント（名古屋市除く）

### 尾張西部地区

インフルエンザ増えました。21人。  
ワクチン接種者7割ですが、比較的軽いです。

【一宮市 あさのこどもクリニック】

R S ウイルス感染症 生後1か月男  
マイコプラズマ感染症 3歳男

【一宮市 後藤小児科医院】

マイコプラズマ感染症 10人

【一宮市 城後小児科】

インフルエンザはA型のみ(6名)

【一宮市 平谷小児科】

インフルエンザ95名(すべてA型)

【一宮市 一宮市立市民病院】

マイコプラズマ肺炎 5歳男

【稲沢市 野村整形外科】

水痘多い。

A型インフルエンザ5例。

R S V 感染症続発中。

【岩倉市 なかよしこどもクリニック】

A型インフルエンザが見られますが、今のところ20～40歳台の人が多いです。

【犬山市 武内医院】

インフルエンザ増加してきました。(すべてA型、12名)

【江南市 みやぐちこどもクリニック】

マイコプラズマ7歳と10歳 女。

溶連菌感染症、胃腸かぜが未だ多いようです。  
インフルエンザはいずれもA型です。

【春日町 丹羽医院】

インフルエンザA型13名。

インフルエンザB型1名。

【北名古屋市 田中クリニック】

インフルエンザA型8名。

【津島市 田中こどもクリニック】

インフルエンザA型19名。

【津島市 医療法人参育会加藤医院】

インフルエンザB型1名ありました。

【愛西市 医療法人谷本医院】

### 尾張東部地区

溶連菌感染症、感染性胃腸炎は多く、A型インフルエンザは増えはじめました。

【瀬戸市 津田こどもクリニック】

インフルエンザ8名(全てA型)

流行性耳下腺炎の流行がみられます。

その他、溶連菌感染症、水痘、嘔吐、下痢は少なくなりました。

【尾張旭市 医療法人誠和会佐伯小児科医院】

32歳男、43歳男、39歳女 A型インフルエンザ

【豊明市 豊明団地診療所】

今朝(1月13日) 東郷小3年2組がインフルエンザで学級閉鎖になりました。

【東郷町 ホリバ医院】

インフルエンザ(主にA)が急増中です。

【春日井市 春日井市民病院】

インフルエンザA型18人、B型1人。

感染性胃腸炎も多数。

水痘増加。

【春日井市 朝宮こどもクリニック】

インフルエンザが増えてきました。まだ家庭内が主ですが、これから感染が広がりそうな気配です。

また、水痘も増加傾向です。

【春日井市 かがわこどもクリニック】

水痘、インフルエンザが目立ちます。

インフルエンザは1例のみB型でした。

胃腸炎では初めてロタウイルス陽性例がありました。

【小牧市 志水こどもクリニック】

インフルエンザA型3人。

あいかわらず感染性胃腸炎が多く、水痘も増えてきています。

【小牧市 医療法人心正会鈴木小児科】

インフルエンザ流行中。

【小牧市 小牧市民病院】

インフルエンザA 8

【半田市 医療法人林医院】

A型インフルエンザ15名

感染性胃腸炎多い。

【南知多町 医療法人大岩医院】

インフルエンザA 19名

【半田市 医療法人敬おっかわこどもクリニック】

インフルエンザA型26名 増えてきています。

【半田市 半田市立半田病院】

感染性胃腸炎が多いですが軽症例がほとんどです。

水痘・インフルエンザはちらほらです。

【東海市 もしもしこどもクリニック】

インフルエンザはすべてA型でした。

【東海市 こいで内科医院】

インフルエンザA型 5名

感染性胃腸炎多い

【大府市 まえはらこどもクリニック】

西三河地区

E Bウイルス感染症 11歳女(扁桃炎・肝炎)  
RSV(+) 3名  
StrepA(+) 7名  
ロタウイルス腸炎 1歳女  
インフルエンザ A型 4名  
【豊田市 星ヶ丘たなかこどもクリニック】  
インフルエンザ A型 11名  
【豊田市 田中小児科医院】  
インフルエンザ A型 5名  
インフルエンザ B型 1名  
【豊田市 すくすくこどもクリニック】  
インフルエンザ A型 12名  
【豊田市 足助病院】  
インフルエンザ 12例は、すべてA型です。  
【岡崎市 花田こどもクリニック】  
11か月女 病原性大腸菌O18  
溶連菌感染症散見されます。  
インフルエンザ感染症増加傾向(全てA型で  
ワクチン未接種者が約9割です)  
【岡崎市 竜美ヶ丘小児科】  
2歳男 病原性大腸菌O74(+)VT(-)  
11歳男 病原性大腸菌O1(+)VT(-)  
4か月男 病原性大腸菌O128(+)VT(-)  
9歳女、3歳女 マイコプラズマ肺炎  
3歳男 アデノ  
インフルエンザA型 12人  
【岡崎市 にいのみ小児科】

4歳男 病原大腸菌O1  
A型インフルエンザ 13名  
B型インフルエンザ 1名  
【岡崎市 医療法人川島小児科水野医院】  
22名全員インフルエンザA型  
【岡崎市 医療法人志貴こどもクリニック】  
インフルエンザ全てA型 予防接種済(18  
名)、予防接種未(35名)、予防接種未確認(2名)。  
1/11(日)休日当直にて36名(小児が15名、  
大人が21名)。  
【岡崎市 栗屋医院】  
10歳~59歳 12名全てA型でした。  
【岡崎市 医療法人永坂内科医院】  
ムンプス、感染性胃腸炎が流行中です。  
【三好町 三好町民病院】  
インフルエンザA 22名。  
ムンプス14名。1つの保育園で流行中。  
【知立市 宮谷クリニック】  
インフルエンザはA型。  
【刈谷市 田和小児科医院】  
A型インフルエンザ増加。  
感染性胃腸炎、水痘、ムンプス目立ちます。  
【碧南市 永井小児クリニック】  
インフルエンザA4名。  
感染性胃腸炎はやや減少。  
【西尾市 やすい小児科】  
B型インフルエンザ4歳男、他はA型で(18  
名)増加してきました。  
【西尾市 山岸クリニック】

東三河地区

感染性胃腸炎流行中  
インフルエンザA型30名、B型3名  
【豊橋市 医療法人こどもの国大谷小児科】  
3歳男、4歳男 アデノ扁桃炎  
6歳女 マイコプラズマ肺炎  
【豊橋市 医療法人野村小児科】  
インフルエンザA型 19名  
【豊橋市 おだかの医院】  
インフルエンザはA型51名、B型7名の計  
58名でした(1歳から67歳)。  
【豊橋市 医療法人羽柴クリニック】

すべてA(+)です。  
【豊川市 豊川市民病院】  
E.coli O18 女5歳  
E.coli O18 男5歳  
ウイルス性胃腸炎、インフルエンザA型、水  
痘の3つが流行しています。  
【豊川市 ささき小児科】  
<12月報コメント>  
梅毒  
【豊橋市 成瀬泌尿器科】

全数把握感染症発生状況（愛知県全体・保健所受理週別）2009年1月14日現在

一～三類感染症

<関連リンク> 届出基準 [http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/todokedeki\\_jun080512.pdf](http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/todokedeki_jun080512.pdf)

結核（二類感染症）

報告保健所	2009年2週報告数			2009年累計(1～2週・1月7日現在)		
	総数	喀痰塗抹検査陽性者数再掲	無症状病原体保有者再掲	総数	喀痰塗抹検査陽性者数再掲	無症状病原体保有者再掲
名古屋市(16保健所合計)	15	5		20	7	1
豊田市	1			1		
豊橋市	2			2		
岡崎市	1	1		1	1	
一宮	3	3		6	4	
瀬戸						
半田						
春日井						
豊川						
津島						
西尾						
江南	1			1		
新城						
知多	1			1		
師勝						
衣浦東部	1	1		1	1	
合計	25	10	0	33	13	1

四類・五類感染症（全数把握）（推定感染経路、推定感染地域は確定も含む）

つつが虫病（四類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	推定感染地域
1	名古屋市	63歳	女	愛知県 美浜町

レジオネラ症（四類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	病型	推定感染地域
1	一宮	74歳	女	肺炎型	国内
2	半田	76歳	男	肺炎型	国内
3	知多	86歳	女	肺炎型	国内

アメーバ赤痢（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	病型	推定感染経路	推定感染地域
1	名古屋市	37歳	男	腸管及び腸管外アメーバ症	性的接触	国内
2	豊田市	50歳	男	腸管アメーバ症	性的接触	国内

ウイルス性肝炎（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	病型	推定感染経路	推定感染地域
1	津島	32歳	男	B型	不明	国内

梅毒（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	病型	推定感染経路	推定感染地域
1	名古屋市	25歳	男	無症候	性的接触	国内
2	衣浦東部	55歳	男	無症候	性的接触	国内

麻しん（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	予防接種歴	推定感染地域
1	豊田市	21歳	男	不明	国内
2	半田	5歳	女	有	国内

2008年12月報 (2009年1月9日現在)

12月の一～五類感染症(全数把握対象)発生状況 [診断日に基づく集計。( )は無症状病原体保有者再掲。]

2007～2008年に報告のあった 疾病名および病型 ( )内は全数把握対象疾病数		2008年12月			2008年 総計 <愛知県全体>	2007年 総計 <愛知県全体>	
		愛知県 (名古屋市除く)	名古屋市	愛知県全体			
一類 (7)	発生報告なし	0	0	0	0	0	
二類 (5)	結核	74 (14)	54 (8)	128 (22)	1,995 (322)	1435 (118) #1	
三類 (5)	コレラ	0	0	0	1 (0)	0	
	細菌性赤痢	0	0	0	14 (0)	25 (0)	
	腸管出血性大腸菌感染症	4 (1)	2 (0)	6 (1) #2	166 (32)	166 (36)	
	腸チフス	1 (1)	0	1 (1)	4 (1)	3 (0)	
	パラチフス	0	0	0	2 (0)	0	
四類 (41)	E型肝炎	0	0	0	1	8	
	A型肝炎	0	0	0	4	6	
	エキノкокクス症	0	0	0	1	0	
	オウム病	0	0	0	0	1	
	Q熱	0	0	0	1	1	
	つつが虫病	1	0	1	5	4	
	デング熱	1	1	2	12	7	
	日本脳炎	0	0	0	1	1	
	ブルセラ症	0	0	0	2	0	
	マラリア	0	1	1	6	1	
	レジオネラ症	3	1	4	57	41	
五類 (14)	アメーバ赤痢	4	4	8	57	59	
	ウイルス性肝炎	1	2	3	15	8	
	内訳	B型	1	2	3	15	7
		C型	0	0	0	0	1
	急性脳炎	0	0	0	9	5	
	クロイツフェルト・ヤコブ病	1	0	1	8	6	
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	0	0	10	6	
	後天性免疫不全症候群	3	5	8	109	123	
	内訳	無症候性キャリア	1	4	5	55	79
		AIDS	2	0	2	47	38
		その他	0	1	1	7	6
	ジアルジア症	0	0	0	1	1	
	髄膜炎菌性髄膜炎	0	0	0	0	2	
	梅毒	4	2	6	67	75	
	内訳	無症候	2	0	2	25	19
		早期顕症	1	2	3	39	52
		晩期顕症	1	0	1	2	1
		先天梅毒	0	0	0	1	3
	破傷風	0	1	1	12	0	
バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	0	0	6	2		
風しん	0	0	0	3	-		
麻しん	1	2	3	198	-		
総 計		98	75	173	2,767	1,986	

#1; 2007年4月1日～12月31日診断分

#2; O26 1件、O103 1件、O157 4件

五類感染症(月報定点把握対象)発生状況

	疾病名	2008年12月			2008年 総計	2007年 総計
		愛知県 <名古屋市除く>	名古屋市	愛知県 全体	愛知県 全体	愛知県 全体
性 感 染 症 定 点	性器クラミジア	85	58	143	1,887	1,699
	性器ヘルペスウイルス感染症	23	18	41	692	576
	尖圭コンジローマ	23	10	33	501	462
	淋菌感染症	22	29	51	787	810
基 幹 定 点	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	74	11	85	1,158	1,045
	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	14	5	19	106	87
	薬剤耐性緑膿菌感染症	0	0	0	5	10

感染症の類型及び定義(感染症法)

類型	定義
一類感染症 (7疾病)	感染力、罹患した場合の重篤性等に基づく総合的な観点からみた危険性が極めて高い感染症。患者、疑似症患者及び無症状病原体保有者について入院等の措置を講ずることが必要。
二類感染症 (5疾病)	感染力、罹患した場合の重篤性等に基づく総合的な観点からみた危険性が高い感染症。患者及び一部の疑似症患者について入院等の措置を講ずることが必要。鳥インフルエンザ(H5N1)が平成20年5月12日の法改正により従前の四類感染症鳥インフルエンザから除かれ、二類感染症に追加された。
三類感染症 (5疾病)	感染力及び罹患した場合の重篤性等に基づく総合的な観点からみた危険性は高くないが、特定の職業への就業によって感染症の集団発生を起こしうる感染症。患者及び無症状病原体保有者について就業制限等の措置を講ずることが必要。
四類感染症 (41疾病)	動物、飲食物等の物件を介して人に感染し、国民の健康に影響を与えるおそれがある感染症(人から人への伝染はない。媒介動物の輸入規制、消毒、物件の廃棄等の物的措置が必要。)
五類感染症 (41疾病)	国が感染症の発生動向の調査を行い、その結果等に基づいて必要な情報を国民一般や医療関係者に情報提供・公開していくことによって、発生・まん延を防止すべき感染症。
新型インフルエンザ等感染症 (2疾病)	インフルエンザのうち当該感染症に対する免疫を獲得していないことから、生命及び健康に重大な影響を与えるおそれのあるもの。新型インフルエンザ(新たに人から人に伝染する能力を獲得したウイルスによるもの)及び再興型インフルエンザ(かつて世界規模で流行したウイルスによるもの)が平成20年5月12日に指定された。
指定感染症	既知の感染症(一～三類及び新型インフルエンザ等感染症を除く)のうち、一～三類感染症と同程度の危険性を有し、それらに準じた措置を実施しなければ、国民の生命及び健康に重大な影響を与えるおそれがあるもの。一年間に限定した指定。
新感染症	人から人に伝染すると認められる疾病であって、既に知られている感染性の疾病とその病状又は治療の結果が明らかに異なるもので、当該疾病にかかった場合の病状の程度が重篤であり、かつ、当該疾病のまん延により国民の生命及び健康に重大な影響を与えるおそれがあると認められるもの。

愛知県感染症情報

2008年2週(2009年1月5日～2009年1月11日)

愛知県衛生研究所

		定点数																							
愛知県		インフルエンザ	小児科	眼科	STD	基幹	RSウイルス感染症	インフルエンザ (鳥インフルエンザ及び新型インフル エンザ等感染症を除く。)	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 (オウム病を除く。)	
愛知県 (名古屋市を含む)		195	182	35	52	17	99	2,627	52	274	2,107	519	13	6	107	6	7	187	0	9	0	0	7	3	
総数 (名古屋市は除く)		125	112	24	37	12	82	2,139	43	191	1,458	413	10	5	88	5	2	154	0	7	0	0	4	0	
名古屋	名古屋市	70	70	11	15	5	17	488	9	83	649	106	3	1	19	1	5	33		2			3	3	
尾張東部	瀬戸	9	9	2	3	1	7	94	5	27	49	17		1	7			14							
海部津島	津島	7	7	2	2	1	1	102	5	18	200	52	1		13			6					1		
尾張中部	師勝	4	4	1	1			50		5	53	15			1			2		1					
尾張西部	一宮	16	12	3	4	1	1	221	6	9	55	33	1		10	1		8					1		
尾張北部	春日井	9	9	2	3	1	25	235	11	13	119	54	1		9	2	2	2		3					
	江南	6	6	1	2		5	58	1	14	74	22	2		3			3							
知多半島	半田	6	6	1	2	1	6	84	4	11	116	10		2	6			24							
	知多	7	7	2	2			120		4	108	14		1	1			5							
西三河南部	岡崎市	11	7	2	2	1	1	174		13	62	21	2		13			29							
	衣浦東部	13	13	2	4	1	15	282	2	29	146	45	2		8			37							
	西尾	5	5	1	2	1	3	46	1	2	72	24			1			2							
西三河北部	豊田市	9	9	2	4	1	6	227	2	22	54	45			7	2		16		3			1		
東三河南部	豊橋市	12	8	2	4	1	2	263	3	14	190	21	1	1	6			2					1		
	豊川	9	8	1	2	1	10	174	2	10	160	39			3			3							
東三河北部	新城	2	2			1		9	1			1						1							

愛知県感染症情報

2008年2週(2009年1月5日～2009年1月11日)

愛知県衛生研究所

年齢階層 (名古屋市を除く)	RSウイルス感染症	インフルエンザ (鳥インフルエンザ及び エンザ等感染症を除く。)	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 (オウム病を除く。)
計	82	2,139	43	191	1,458	413	10	5	88	5	2	154	0	7	0	0	4	0
～6ヶ月	37	15			18	7			3	1								
～12ヶ月	21	55	2		115	32	1	1	50									
0歳																		
1歳	15	119	11	5	264	62	1		34			4						
2歳	6	109	15	12	162	68	2		1			12						
3歳	1	118	7	23	112	79	3				1	17						
4歳		137	4	35	100	77	1	1		1		31					2	
5歳	1	136	2	29	79	45				1		26						
6歳	1	116	1	24	68	21		2				31						
7歳		81	1	14	52	9						15						
8歳		67		14	48	6	2					9						
9歳		73		8	36	2						3						
5歳～9歳																		
10歳～14歳		161		12	95	4						5		1			1	
15歳～19歳		97		4	32	1												
20歳～				11	277			1		2	1	1						
20歳～29歳		333												1				
30歳～39歳		257												2			1	
40歳～49歳		130												1				
50歳～59歳		76												2				
60歳～69歳		33																
70歳～																		
70歳～79歳		15																
80歳以上		11																

\*鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く